

補正予算審査
特別委員会

◇開催日 9月7日
◇委員長 渡辺 純也
◇副委員長 森田 久夫
◇委員数 20人
(正副議長を除く)
◇審査結果 各会計とも
原案可決

各会派の主な質疑
(質疑順に掲載)

自由民主党昭島市議団

質問 光熱水費について、
①今回の補正において電気料、ガス料は全体的にどのくらいの増になったのか。
②市庁舎は化石燃料を使わない再生可能エネルギーを使用しているが、940万円も増えた要因は。

答弁 ①電気料は1億4千330万円、ガス料は7千240万円の増額となった。②他の電力と同様に、基本料金のほかに従量料金があり、そのうち今回は特に燃料費調整額が高騰したためである。
質問 再生可能エネルギーについて、①庁舎で使っているのは太陽光や風力など、こういった由来のものか。②施設等に太陽光発電と蓄電池の設置を検討して
みている。

答弁 ①4月から6月はバイオマスエネルギーとなっている。②まずは節電を徹底しながら、昭島ガス、東京ガスとの包括連携協定等
を利用し、積極的に導入す

べく検討している。

質問 財政調整基金について、①1億4千800万円の繰入金の使い道は。②今年度の見直しは。

答弁 ①繰越金などを計上した後に、本補正の収支の調整のため足りない部分に充当した。②効果的な予算執行に努めるとともに、年度末の状況を勘案し、取り崩し額を決定したい。

質問 公共施設整備等資金積立基金積立金について、今回の補正額は15億8千900万円であるが、全体的な積立て見込額は17億9千100万円である。差額の約2億円はどこからの積立てなのか。

答弁 当初予算で計上した繰越金4億円の半分を積立として措置している。

質問 庁用車について、ガソリンが高騰している中、水素自動車の導入など、今後どのような運用を考えているのか。

答弁 現在も様々な燃料を使った庁用車を運用している。災害時の対応も視野に入れながら、環境に配慮した車両の導入を進め、必要台数を確保していく。

みらいネットワーク

質問 年金生活者支援金と心身障害者福祉手当を受けている生活保護受給者は、収入認定の申告をしなければならぬが、しっかりと周知をしているのか。

答弁 ケースワーカーが相談の際に年金生活者支援金のことも含めて説明している。また、生活状況を確認しながら、その都度相談し

ていく中でも確認している。

質問 公的施設で緑のカーテン作りに取り組む事例がある。温暖化に対する効果だけでなく、コミュニケーションの醸成を図ることも期待されるが、まずは学校での試行を検討しては。

答弁 一定の効果があることは認識している。どのような活動ができるのか研究していきたい。

日本共産党昭島市議団

質問 普通交付税が1億円減額となっている。税による収入が増え、不交付団体となったことによるものだが、その原因は市内企業の不動産売買によるものか。

答弁 国の法人税をもとに法人市民税を課税しているため、不動産売買によるものかなど、企業収益の内訳は市では把握ができない。

質問 都市計画道路3・4・1号とJＲ八高線との立体交差整備事業について、①完了の見通しは。②梨木踏切存続についての考え方は。

質問 施設修繕料について、総合スポーツセンターのトレーニングルームはエアコンが故障している状況だが、

いつ頃修理を行うのか。

質問 設計を進めている段階であり、今年度中に修繕を行う予定である。

質問 介護保険について、認定までに時間がかかり、退院後の大変な時期にサージャスを受けられなかったとの話を聞いたが、現状は。

答弁 申請から1か月以内での認定に努めているが、コロナ禍の影響もあり、調査等に時間がかかるなど、難しい状況にある。

無会派

質問 立川基地跡地昭島地区の都市基盤整備に係る負担金の法務省との協定について、市の考えは。

答弁 応分の負担について、まちづくりの影響を理解してもらい中、一定の額が確保できたと考える。

質問 施設修繕料について、総合スポーツセンターのトレーニングルームはエアコンが故障している状況だが、

いつ頃修理を行うのか。

質問 設計を進めている段階であり、今年度中に修繕を行う予定である。

質問 光熱水費が高騰する中、中小学校の空調について、一括制御ではなく、個別空調の導入を検討すべき。

答弁 普通教室等に既に導入している学校もあり、総合的に検証していく中で、進めていきたい。

公明党昭島市議団

質問 高校生等医療費助成制度の実施にあたっては、義務教育就学児医療費助成制度も含めて、格差なく平等に所得制限の撤廃をすべきと考えるが、所見は。

答弁 新制度の実施に向け、システム改修費を計上したが制限の撤廃には多額の財源が必要となるため、引き続き総合的に検討していく。

質問 光熱費が高騰している中、特に電気代について、市民が不安に思っている。水道料金の減免も非常に有

効であるが、電気代について
も何か支援はできないのか。

質問 国の経済対策や都の補助金を活用する中で、状況に応じて、迅速に効果的な支援を行えるように検討している。

質問 環境コミュニケーションセンターにおいて、リチャウムイオン電池の発火リスク等を考え、スプリンクラ設置等の万全な消火体制を整えるべき。

答弁 スプリンクラの設置等について、調査している。現在は、手動の消火栓と散水栓を設置しており、稼働時間中は、カメラによる監視体制をとっている。

質問 補正における繰越金の使途について、2分の1を市債の繰上償還に充当せず、基金に繰り入れるとのことだが、市の財政運営における繰越金に対する優先順位等の考え方は。

答弁 繰越金については基金の残高と長期的な見込みを勘案し、将来に備える面も含めて、それぞれの基金への積立てを行っている。

2面下段より

デジタル化推進計画、学習支援としてのGIGAスクール構想事業の推進や市民防災マニュアルの作成等、市民の要望などが数多く実現され、高く評価する。長引くコロナ禍の中、引き続き、住み続けたいまち昭島 笑顔あふれるまち昭島の将来を見据えた市民総合交流拠点施設整備事業、デ

介護保険特別会計

反対

日本共産党昭島市議団
荒井 啓行 議員

基準月額保険料は、介護保険給付事業運営基金から7億9千万円を繰り入れることで、6千50円に据え置くことができると指摘する。歳入では保険料が前年度と比べて増となり、加えて歳出においては、基金積立金の増減率が124%となつて増額されているなど、高齢者への負担増となつて、看

賛成

自由民主党昭島市議団
小林 こうじ 議員

第8期介護保険事業計画は、協議会において審議が重ねられ、パブリックコメントを経て策定された。その最初の決算において、保険料収入が前年度比6.6%増となっているが、要因としては、高齢化に伴う被保険者数の増や、増加する介護ニーズを的確に捉えて保険料改定を行ったことなどが

4面下段へ続く